事業名	雇用機会拡充事業

総事業費	41,786　千円

①　計画　（Plan）

長期振興計画の位置づけ	施策名	新たな産業基盤と雇用環境の整備
	基本事業名	雇用機会の拡充

②　実施　（Do）

事業の意図		支援する
事業の実績と成果	取組内容	特定有人国境離島法に基づく西之表市雇用機会拡充事業補助金処理を行った。 公募、審査会、補助金処理
	成　果	・事業拡大4件 ・事業中止1件 ・新規雇用者　6人

③　振り返り（Check）

事業実施上の課題（事業担当者記入）	・人口減少が進展している中で、雇用者の確保が難しくなってきている。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止が発生しており、進捗状況を把握しながら、適切な対応が必要である。 ・事業の成果をしっかり把握する必要がある。
評価結果の根拠及び今後の課題（担当課長記入）	有人国境離島地域の持続的な環境づくりのため、雇用を伴う創業又は事業拡大を支援する事業であるが、本年度も民間の投資を促し事業者が工夫しながら新たな事業を展開する活動に繋がった。一方で、新型コロナウイルスの影響もあり、事業が採択されたものの、工事請負業者等の事情により辞退した事案もあり、申請段階での計画性や実施過程で状況の把握に努めることが必要である。

④　改善（Ａｃｔｉｏｎ）

2021年度方向性	本年度は5件を事業採択し、事業が実施されている。雇用の発生のみならず、産業振興にとっても非常に効果的な事業となっている。補助事業については、慣れない事業所も多く、円滑な事業の実施とともに申請や実績報告等についてきめ細かな監督・指導とともに助言等の支援を行う。また、企業立地協定締結の検討などサポートを行う。

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	事業の確認

事業名	先端企業誘致推進事業

総事業費	353　千円

①　計画　（Plan）

長期振興計画の位置づけ	施策名	新たな産業基盤と雇用環境の整備
	基本事業名	雇用機会の拡充

②　実施　（Do）

事業の意図		把握する
事業の実績と成果	取組内容	首都圏のIT企業及び東海圏の製造業を対象として、種子島への事業所設置について意識調査を実施。 宇宙関連産業については、関係団体のセミナーにリモートで参加。
	成　果	送付企業数　1,001社 回答数　4社（うち、本市に興味あり　2社）

③　振り返り（Check）

事業実施上の課題（事業担当者記入）	興味を持った企業について、継続したつながりを持つこと。
評価結果の根拠及び今後の課題（担当課長記入）	島という地理的ハンディを克服し、大型ロケット射場のある種子島という強みを生かして、宇宙関連産業やIT関連企業等の先端企業に特化した誘致活動を行うよう取り組んだ事業である。今年度は、新型コロナウイルスの影響により、直接的な活動できず、フォームマーケティングによる調査により、宇宙関連事業所へのPRとニーズ把握に努めた。今後、コロナ収束の状況を踏まえながら、企業とのマッチングの場を設定するなど、様々な関係性から実績に繋げたい。

④　改善（Ａｃｔｉｏｎ）

2021年度方向性	昨年度実施したフォームマーケティング調査結果を踏まえ、企業にアプローチを行う。 旧榕城分団跡地にワーケーション施設を設置する。

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	特定経営基盤維持事業

総事業費	12,000　千円

①　計画　（Plan）

長期振興計画の位置づけ	施策名	新たな産業基盤と雇用環境の整備
	基本事業名	雇用機会の拡充

②　実施　（Do）

事業の意図		維持する
事業の実績と成果	取組内容	特定有人国境離島法に基づく特定経営基盤維持事業補助金処理等を行う。 周知、申請受付、補助金処理、交付金処理
	成　果	申請事業者　4件

③　振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、事業及び雇用の継続が難しい事業者も発生している。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	過去に雇用機会拡充事業により事業を行っている事業所向けに、新型コロナウイルス感染症対策として固定費など経営基盤を維持するために必要な経費の支援を行った。影響が長期化する中で、各事業所とも厳しい状況であり、今後も状況を把握しながら、雇用維持を確保していきたい。

④　改善（Ａｃｔｉｏｎ）

2021年度方向性	令和2年度で終了。

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明